

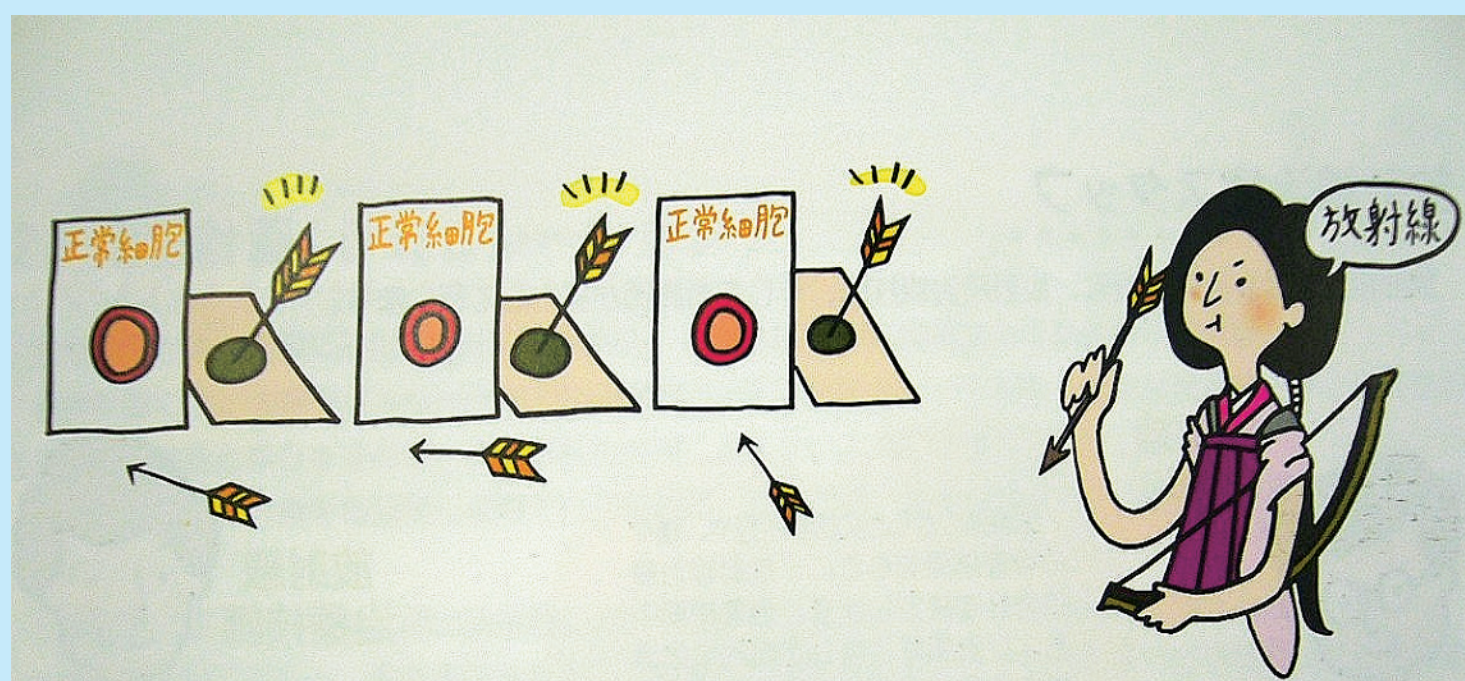
放射線治療について

放射線とは

放射線は空間を伝わるエネルギーの一種で、発生する方法によって様々な種類があります。これが一般的に、「放射線は恐ろしい」と言われるゆえんですが、これらはいずれも目に見えず、からだに感じることもできませんので、放射線を野放しにすると、自分でも気付かないうちに被ばくするおそれがあります。放射線治療では病気の部位以外にはほとんどあたりませんので、どうかご安心ください。

放射線治療とはどのようなものでしょうか？

放射線治療では、患者様の病気を治すために放射線を使用します。放射線は目に見えず、からだにあたっても何も感じませんが、病気の細胞が放射線にあると容易に死滅してしまうのに対して、正常な細胞は同じ量の放射線があっても受けるダメージが少ないため、病気の細胞だけを取り除くことができます。放射線治療では手術のように大きな傷跡が残ったり、またからだの機能が損なわれたりするようなことなく治療することができます。



放射線照射の方法(外部照射と内部照射)

外部照射

外部照射装置はいくつかの種類放射線を照射することができます。これらの放射線の治療効果はほとんど同じもので、治療する部位の深さによって治療医師が患者様に最適な放射線を選択します。



内部照射

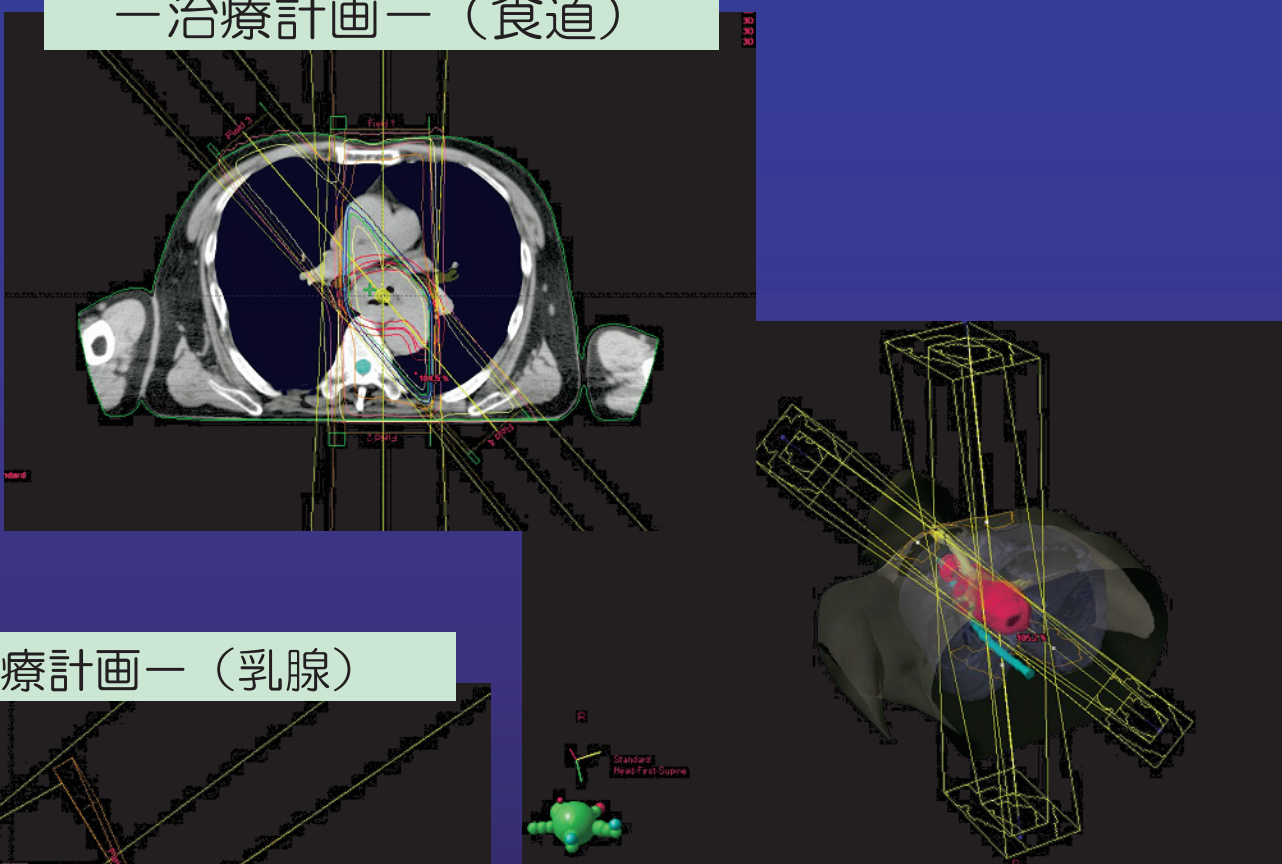
内部照射では、直接患部に放射線を発生する針等をいれる場合と、管を入れた後に放射線の線源を入れる場合があります。内部照射では、からだの中に小さい線源を入れて放射線をあてるので、より狙いをしぼって放射線をあてることができます。



放射線治療装置(リニアック)



—治療計画— (食道)



—治療計画— (乳腺)

